

令和7年度しまね社会貢献基金クラウドファンディング事業報告シート

団体名	NPO 法人サイクリストビュー
事業名	出雲路センチュリーライド2025
事業費(うち支援額)	2,363,000 円(126,000 円)



■事業目的（250文字以内）

「出雲路」は、『縁結びの地』の代名詞として全国的にも既に認知されていますが、実際にその地を走る参加者が、自然豊かな情景を十分に満喫できる絶好のロケーションを有しています。

大会を通じてこれを紹介し、全国から参加される方々に、サイクリング好適地である「出雲路」を心ゆくまで楽しんでいただきたい。

これによって地域の知名度アップと愛好者のリピーター醸成に繋がるほか、地元の参加者にも、大会で走る道とそれを取り巻く景色や自然が本当の意味で地域の財産であると誇らしく感じて欲しいと考え今回の事業を申請しました。

■事業内容（350文字以内）

松江 B&G 海洋センターをスタート・ゴールとします。スタート後は、宍道湖を回り込むようにして雲南市に向かい、神話の地を走り抜け、中海を経由して日本海沿岸沿いを回って戻ってきます。コース上での休憩はエイドステーションを5箇所設置。地産地消のグルメを楽しんでもらい、疲れを癒してもらいます。また、今大会から 100km ショートコースを設定。160km は無理でも、100km なら頑張れる方や、160km に参加したんだけど、途中でのアクシデントや暑さによる体力低下などでのコース変更をしたい方も変更可能。コースの獲得標高も、Garmin のルートマップでは、160 キロコースが 1,605m、100km コースが 817m と、大会史上最も高低差の少ないコースに設計。E バイクで参加されても、十分楽しめるものです。

■事業成果と今後の展望（450文字以内）

今大会は、開始直前に警報が解除されたため、開始を 30 分遅らせて無事にスタート。その後は天候も一気に回復し、風も穏やかで気温も 30 度を下回る好条件となりました。落車 1 件を除き、事故や救急搬送もなく盛会にて終了しました。

特筆すべきは、大会史上初となる海外からの参加です。台湾からお越しの方は前日受付も一番乗りで、無事に 100km を完走。日本の原風景が残るコースを満喫いただけたことと思います。

参加申込は 257 名（当日出走 192 人）で、県外比率は 74.3%を記録。山陰両県以外からも 67.3%と高い割合を占めました。リタイア搬送中、兵庫県から 3 年連続で参加されている方から「松江の情景がすっかり気に入っている」とのお声をいただくなど、20 年にわたり大会を続けてきた意義を改めて実感する回となりました。次年度以降も開催を継続していく予定です。